

ボランティアサポートプログラム

道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという地域の皆さんの自然な気持ちを、形あるものにしようと思ったのが「ボランティアサポートプログラム」です。地域の皆さんの「みち」をきれいにしようという気持ちが、地域にふさわしい道づくりにつながることを期待しています。

【平成26年度の主な活動内容】

- ◆活動団体の募集(国道1号、52号、139号)
- ◆「地域の皆様と『みち』をきれいにしよう」との考えのもと、国道1号の美化及び清掃活動を実施します。

平成26年度 実施団体	活動内容
○国道1号 7団体	歩道の清掃、植樹帯(花)の管理



活動の様子

<平成25年度 ボランティア・サポートプログラムの協定締結>

平成25年10月17日に一般社団法人静岡県設備協会とボランティア・サポートプログラムの協定を締結しました。静岡市内の国道1号長沼交差点からマークイズ付近の歩道の清掃活動を通して、道路の美化に貢献されています。



協定書調印式での記念撮影

～地域力を活かした富士山の包括的な道路景観管理に向けた社会実験～

世界文化遺産：富士山の西麓：静岡県富士宮市朝霧地区(国道139号富士宮市猪之頭～山梨県境区間)において、地域の「人」や「技術力」(＝「地域力」)を活かした持続的な道路景観管理の仕組み作りを目指した社会実験を行います。富士山朝霧高原景観管理協議会を事業主体として、平成26年8月6日から平成27年3月18日までの期間取り組みを行います。

道路の維持管理・安全管理の予算が少ない中での道路管理においては、風景阻害も含めて、安心・快適な道路空間とは言い難い状態となっています。

これらの課題の対応策として、次のような“地域力”を活かした道路景観管理に向けた社会実験を行います。



- I. 住民や来訪者のボランティア参加の仕組みづくりを行う、“地域力の活用(ヒューマンファンド)”
- II. 酪農や農林業従事者の機械や技術力を景観管理に活用する、“地域力の活用(テクノロジーファンド)”
- III. 持続可能な景観管理活動の資金確保のための仕組みづくりを行う、“地域力を支える資金開発(マネーファンド)”

II. テクノロジーファンド



牧場や農林業の技術力活用と包括管理委託による継続的な景観管理実験

I. ヒューマンファンド



住民のプチメンテによる景観管理実験
(例:住民による美化・清掃活動)

III. マネーファンド



景観管理活動の資金開発実験
(例:富士山朝霧高原・シーニック・マルシェ(仮称))